

デザイン総合実習Ⅱ(コンテンツデザインコース)

必修

開講年次：3年次前期

科目区分：実習

単 位：2単位

講義時間：60時間

■**科目のねらい**：新規コンテンツの企画法を身につけ、プレゼンテーション能力を発展させるため、コンテンツデザイン企画課題を行う。企画課題では、ICTを活用した札幌の新規コンテンツ企画を通して、対象とする“もの・こと”に関する情報収集、調査分析、立案、企画書作成、プレゼンテーションなどを行い、企画立案・文書作成能力を実践的に身につける。また、身の回りの生活環境におけるデジタルメディアを活用した事例について知見を得、これを生かした企画法を身につける。

■**到達目標**：①ICTコンテンツ企画に関する情報収集、調査分析が的確にできること。
②ICTコンテンツを企画立案し、デザイン表現を駆使して明快にプレゼンテーションできること。
③明確な文章でICTコンテンツの企画書を記述できること。
④課題の発見、実験の実施、結果の分析、および報告ができること。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎城間 祥之・松永 康佑

■**授業計画・内容**：

【第1回～第8回担当：松永】

- 第1回 メディアアート、デジタルコンテンツの事例紹介
- 第2回 デジタルコンテンツの調査報告・企画（グループ）
- 第3回 ICT技術の活用法
- 第4回 プロトタイプ制作
- 第5回 プロトタイプ制作・プレゼンテーション
- 第6回 制作1
- 第7回 制作2・説明映像制作
- 第8回 プレゼンテーション

【第9回～第15回担当：城間】

- 第9回 コンテンツを新規企画するとは？ 企画の方法（対象物・事の調査、分析、収集方法）
- 第10回 ICTを活用した新規コンテンツ企画課題の説明、コンテンツ企画事例紹介
- 第11回 札幌市内商業施設、観光情報施設の現地調査、情報収集
- 第12回 情報分析、立案、企画概要／実施計画の草案
- 第13回 企画概要のショートプレゼンテーション
- 第14回 企画の詳細化：最終プレゼンテーション資料制作、企画書作成
- 第15回 ICTを活用した新規コンテンツ企画のプレゼンテーション／講評会

■**教科書**：教科書は使わず、プリント資料を配布する。また、デジタル資料を適宜配信する。

■**参考文献**：適宜紹介する。

■**成績評価基準と方法**：課題35%、発表35%、2/3以上の出席（欠格条件）20%、授業態度10%で、上記の到達目標の達成度を評価します。

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	到達目標 ①、③、④	到達目標 ②		
定期試験				
小テスト・ 授業内レポート				
授業態度	○	○	積極的な姿勢	10
発表	○	◎	独創的な提案 明快な発表	35
課題・作品	◎	◎	期限厳守(20%) 理解度(20%) 完成度(60%)	35
出席	◎	◎	2/3以上の出席 授業開始20分までを遅刻とする。遅刻3回 で欠席1回とみなす。	20 欠格条件
その他				

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：デザイン総合実習Ⅰ

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：欠席時数が全体の1/3を超えた場合は単位認定しない。欠席時数が各担当教員の持ち時間数の1/3を超えた場合も単位認定しない。課題未提出の場合には単位が取得できないことがある。